



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 光村印刷株式会社

上場取引所 東

コード番号 7916 URL <https://www.mitsumura.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 嶋山 芳夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 藤川 和典

TEL 03-3492-1182

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	11,810	2.7	157		343		119	
2021年3月期第3四半期	12,136	12.0	464		185		2,758	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 205百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 1,861百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	38.85	
2021年3月期第3四半期	900.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	27,821	17,421	62.0	5,628.75
2021年3月期	29,873	17,783	58.9	5,746.74

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 17,242百万円 2021年3月期 17,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		50.00	50.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	0.9	270		350		130	83.7	42.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	3,103,420 株	2021年3月期	3,103,420 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	40,071 株	2021年3月期	40,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	3,063,379 株	2021年3月期3Q	3,063,419 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、9月末の緊急事態宣言解除後は、感染者数が急減したことから、緩やかな回復基調にありましたが、引き続き変異株による感染拡大の懸念もあり、国内外の動向に留意が必要な状況となっています。先行きにつきましては、原油や諸資材価格の高騰などによる景気の下振れリスクの高まりなど、依然として不透明な状況にあります。

印刷業界におきましては、電子書籍市場やインターネット広告市場の拡大による紙媒体の需要減少に加え、原材料価格などの高騰も重なり、依然として厳しい状況が続きました。

当社におきましては、前期末に設置しましたセールスプロモーション部を中心にマーケティング戦略を推し進め、能動的な企画立案や顧客課題解決提案に取り組むとともに、インパクトのある表現が可能なパノラマ印刷の拡販にも努めています。生産部門においては敷地を売却した草加工場の機能を、連結子会社の新村印刷株式会社が保有する狭山工場の敷地内に建設する新工場への移転に向けた準備を進めており、2022年9月までに竣工予定としています。

電子部品製造事業に含まれるエッチング精密製品については、営業・設計・検査・品質保証に特化し、製造については協力会社へ完全委託する「ファブレス体制」へ移行しました。

環境に配慮した取り組みとして進めています「グリーンプリンティング認定」については、当連結会計年度においては狭山工場にて取得しました。

また、収益構造の再構築をめざし希望退職の募集を実施するとともに、経営資源の選択と集中の一環として、当社グループが行っていた保険代理店事業を譲渡しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は118億10百万円（前年同期は121億36百万円）となりましたが、印刷事業の収益改善により、損益面では営業利益1億57百万円（前年同期は4億64百万円の損失）、経常利益3億43百万円（前年同期は1億85百万円の損失）となり、資産の効率化及び財務体質の強化を図るために投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益3億1百万円を特別利益に計上し、一方、上記希望退職募集に伴い発生した退職加算金等3億54百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益1億19百万円（前年同期は27億58百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと次のとおりです。

① 印刷事業

物流伝票の増加があったものの、新聞関係の減少があり、売上高は109億37百万円（前年同期は110億6百万円）、セグメント利益（営業利益）は1億79百万円（前年同期は4億55百万円の損失）となりました。

② 電子部品製造事業

世界的な半導体不足の影響に加えて、フラットパネルセンサー事業の生産を当連結会計年度中に終了する予定としていることもあり、売上高は5億83百万円（前年同期は8億48百万円）、セグメント損失（営業損失）は3億10百万円（前年同期は2億86百万円の損失）となりました。

③ 不動産賃貸等事業

売上高は3億86百万円(前年同期は3億88百万円)、セグメント利益(営業利益)は2億88百万円(前年同期は2億77百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億51百万円減少の278億21百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億90百万円減少の103億99百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少の174億21百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の業績予想につきましては、2021年11月11日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,675,690	3,385,045
受取手形及び売掛金	2,518,409	2,566,504
製品	280,501	344,950
仕掛品	326,266	390,069
原材料及び貯蔵品	121,952	128,232
有価証券	-	2,500,000
その他	125,251	795,129
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	12,046,071	10,107,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,050,354	4,862,083
機械装置及び運搬具(純額)	1,990,122	1,807,107
土地	3,706,650	3,706,650
リース資産(純額)	592,851	492,584
その他(純額)	59,089	874,887
有形固定資産合計	11,399,068	11,743,313
無形固定資産		
その他	87,368	77,721
無形固定資産合計	87,368	77,721
投資その他の資産		
投資有価証券	5,539,077	5,041,613
退職給付に係る資産	630,105	651,919
その他	228,774	256,347
貸倒引当金	△57,303	△57,275
投資その他の資産合計	6,340,653	5,892,604
固定資産合計	17,827,090	17,713,639
資産合計	29,873,162	27,821,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,640,117	1,778,715
短期借入金	2,610,000	2,610,000
1年内返済予定の長期借入金	357,000	200,000
リース債務	250,643	240,781
未払法人税等	1,120,087	21,155
賞与引当金	144,242	41,916
その他	1,036,930	1,057,279
流動負債合計	7,159,020	5,949,848
固定負債		
長期借入金	350,000	200,000
リース債務	729,451	551,847
役員退職慰労引当金	26,589	24,291
退職給付に係る負債	1,669,290	1,559,590
その他	2,155,574	2,114,275
固定負債合計	4,930,906	4,450,005
負債合計	12,089,926	10,399,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,607,886	5,607,886
資本剰余金	4,449,556	4,449,556
利益剰余金	5,805,811	5,771,648
自己株式	△86,605	△86,687
株主資本合計	15,776,648	15,742,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,850,463	1,522,865
退職給付に係る調整累計額	△22,548	△22,431
その他の包括利益累計額合計	1,827,915	1,500,434
非支配株主持分	178,672	178,880
純資産合計	17,783,235	17,421,718
負債純資産合計	29,873,162	27,821,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	12,136,764	11,810,110
売上原価	10,309,225	9,505,654
売上総利益	1,827,538	2,304,456
販売費及び一般管理費	2,292,247	2,146,881
営業利益又は営業損失(△)	△464,708	157,575
営業外収益		
受取利息	54	235
受取配当金	98,500	117,066
受取家賃	6,920	7,090
助成金等収入	217,486	75,843
その他	29,471	34,083
営業外収益合計	352,433	234,319
営業外費用		
支払利息	49,558	40,008
その他	23,349	7,985
営業外費用合計	72,908	47,993
経常利益又は経常損失(△)	△185,183	343,900
特別利益		
投資有価証券売却益	-	301,636
固定資産売却益	-	144
事業譲渡益	-	40,000
特別利益合計	-	341,781
特別損失		
固定資産除却損	198,469	5,247
固定資産売却損	-	12,644
減損損失	2,126,313	16,345
希望退職関連費用	-	354,930
特別損失合計	2,324,783	389,167
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,509,966	296,514
法人税、住民税及び事業税	31,924	66,828
法人税等調整額	210,927	107,669
法人税等合計	242,852	174,498
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,752,818	122,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,772	3,008
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,758,591	119,007

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,752,818	122,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	877,572	△327,598
退職給付に係る調整額	13,457	117
その他の包括利益合計	891,030	△327,480
四半期包括利益	△1,861,788	△205,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,867,560	△208,473
非支配株主に係る四半期包括利益	5,772	3,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、主として有償受給取引における顧客から購入した原材料等の支払いのうち、顧客に支払われる対価に該当するものと判断した取引については、当該金額を取引価格から減額した金額で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第 1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、「収益認識会計基準」等の適用前の従来基準と比較すると、売上高は 125,091 千円減少し、売上原価は 97,479 千円減少し、営業利益は 27,611 千円減少し、営業外費用は 27,611 千円減少しています。なお、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第 89-2 項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微です。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷	電子部品 製造	不動産 賃貸等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,006,967	848,173	281,623	12,136,764	—	12,136,764
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	106,523	106,523	△106,523	—
計	11,006,967	848,173	388,146	12,243,287	△106,523	12,136,764
セグメント利益又は損失(△)	△455,843	△286,217	277,352	△464,708	—	△464,708

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷	電子部品 製造	不動産 賃貸等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,937,557	583,734	288,818	11,810,110	—	11,810,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	97,996	97,996	△97,996	—
計	10,937,557	583,734	386,815	11,908,107	△97,996	11,810,110
セグメント利益又は損失(△)	179,835	△310,662	288,402	157,575	—	157,575